

様式第 4

普通地域内水面の埋立（干拓）届出書

自然公園法第 33 条第 1 項の規定により 公園の普通地域内に  
おいて水面の埋立（干拓）をいたしたく、次のとおり届け出ます。

年 月 日

届出者の氏名及び住所  
(法人にあつては、名称、)  
(住所及び代表者の氏名)

長野県知事 殿

目	的	
場	所	
行 為 地 及 び そ の 付 近 の 状 況		
施 行 方 法	埋立（干拓）面積	
	工 事 の 方 法	
	関 連 行 為 の 概 要	
	埋 立 （ 干 拓 ） 後 の 取 扱	
予 定 日	着 手	年 月 日
	完 了	年 月 日
備	考	

(備考)

## 1 添付図面

- (1) 行為の場所を明らかにした縮尺 1:25,000 程度の地形図
- (2) 行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺 1:5,000 程度の概況図及び天然色写真(カラー写真)
- (3) 行為の施行方法を明らかにした縮尺 1:1,000 程度の平面図、断面図
- (4) 行為終了後における植栽その他修景の方法を明らかにした縮尺 1:1,000 程度の修景図
- (5) その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

## 2 注意

- (1) 申請文の「公園」の箇所には当該国立(国定)公園の名称を記入すること。なお、不要の文字は抹消すること。
- (2) 「場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番(地先)等を記入すること。
- (3) 「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等、海城公園地区にあっては、海底の形状、着生する動植物、水深(干満)、潮流等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (4) 「工事の方法」欄には、工事計画(時期、工種等)を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (5) 「関連行為の概要」欄には、支障となる動植物の除去、工事用仮工作物の設置等、申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (6) 「埋立(干拓)後の取扱」欄には、埋立後の用途、風致景観の保護のために行う措置を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (7) 「備考」欄には次の事項を記入すること。
  - ア 他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況
  - イ 土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み
  - ウ 過去に自然公園法の許可を受けたものにあつては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件
  - エ 当該申請に関する連絡先(電話番号又はメールアドレス)なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。
- (8) 申請書の用紙の大きさは、日本産業規格(JIS) A4 とすること。